

安全で効率的な飛行経路で CO2 削減へ

対象国が自ら航空交通分野における効率化を図ることが出来るよう、
日本の経験と知識で支援します

国際協力機構(JICA)東京センターでは、6月17日(月)から7月23日(水)まで我が国との二国間協定に基づく対象国:モンゴル及びネパールからの研修員を受け入れ「PBN*飛行方式設計研修」を開催いたします。途上国に於いて今後も増大することが予測されている航空需要に安全に対応するためには、空港から出発又は到着する航空機に対して近年各国で導入されている新たな技術(GPS等の衛星を利用した航法)を使用した柔軟な飛行経路の設定が不可欠となります。この飛行経路の設計のためには、関連する基準や手法について精通する必要があり、それを目的に本研修を実施します。まずは、JICA 東京センターにて概論や一般基準、手法を学び、次に、仙台国際空港を題材にした演習にて実際に自分達で現地調査をし、PBN 飛行方式に基づいた設計を行います。研修の後半は設計した飛行方式がどのようなプロセスを経て採用・運用されるかを学ぶため航空局の関連施設を見学します。

その中でも7/8(月)の仙台国際空港周辺現地調査では、PBN 飛行方式設計の技術習得だけに留まらず、調査地の一つである「千年希望の丘」にて、2011年に未曾有の大災害となった東日本大震災についての知見も広めて頂きます。また、7/9(火)仙台国際空港視察では実際の現場における飛行経路の運用の概要についての説明を受けると共に、研修員各国の現況を紹介し、意見交換を行う予定です。

* PBN (性能準拠型航法 : Performance Based Navigation)

ぜひ取材・報道をご検討ください。なお、取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いいたします。

<取材可能な主な日程>

日時	内容	場所
7/8(月)13:00-17:00	仙台国際空港周辺現地調査	仙台国際空港周辺
7/9(火)9:00-15:00	仙台国際空港周辺現地調査及び空港事務所訪問	仙台国際空港事務所等
7/10(水)-7/17(水)	総合グループ演習 演習結果発表(最終日)	JICA東京センター

<ご参考>

研修コース名: JICA 東京 課題別研修「PBN 飛行方式設計」全体研修期間: 2019年6月17日~7月23日

その他: 研修監理員が同行し、通訳(英語-日本語)を行います

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京センター 経済基盤開発・環境課 岸 志津佳

TEL: [03-3485-7652](tel:03-3485-7652), e-mail: tictip@jica.go.jp/Kishi.Shizuka@jica.go.jp